

「幻の江の島の灯台(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

今回の全国一斉休校要請に対しては、さまざまな意見があるが、私は正しい判断だったと思う。インフルエンザを始めとする主要な伝染病は、学校を中心に広まることが圧倒的に多い。特に本校のように、電車やバスなどの「公共交通機関」で通学する児童が多く、池袋駅や新宿駅などのターミナル駅で乗り換えると者が多い学校では、リスクがより大きい。そうでない学校でも、教職員が電車通勤していて、一人でも感染者がいれば、結果は同じだろう。本校では、政府の要請前に大学の判断で休校を決定していた。これも迅速で正しい判断だった。

卒業までの登校日数 卒業までの登校日数

12日

卒業遠足まで一週間!



7日

楽しい「卒業遠足」



卒業までの登校日数

2日

卒業式予行(午後)



卒業式

おめでとう!



「卒業式までの登校日数の日めくりカレンダー」卒業までの登校日数75日から卒業式までの日めくりカレンダーを作って、各クラスに掲示してあった。

しかし、子どもたちへの影響はあまりにも大きい。特に卒業式を目前に控えた6年生にとっては、残りの登校日数が突然12日から2日へと激減。あとは卒業

式の予行と、規模を縮小した卒業式本番の日を残すのみとなってしまった。6年担任の私にとってもショックだった。その卒業式ですら、日々の状況悪化を見ると、実施そのものが危ぶまれている。

6年生の子どもたちにとって、一番ショックだったのは、恐らく卒業遠足が中止になったことだろう。まさに本日3月6日に実施予定だった。子どもたちは、「鎌倉・江の島パス」というフリー切符をポケットに入れて、鎌倉・江の島エリアを思い思いに楽しむ予定だった。6~7名の各班の子どもたちは、一日のコースを時間をかけて一生懸命考えていた。



担任団も、その子どもたちの思いを実現させようと、相当に努力をしていた。各班に貸し出すレンタル携帯電話の手配、

各施設への連絡、地元の駅でしか買えない切符の手配(湘南在住の本学の先生に購入方法を調べてもらった)、もちろん、担任全員で下見にも行った。



昼食の手配も苦労した。最初は江の島の片瀬海岸で「お弁当」も考えたのだが、トビ(トンビ)の被害が心配で断念。雨のことや保護者の負担も考え、食堂でとることにした。しかし、このエリアには学生団体が食事できる施設は少ない。いくつかあった施設は、小学生の団体には条件が合わなかった。アレルギー対応も考え、最終的に大仏前の「鶏めし御膳」を予約できた。これも子どもたちが楽しみにしていたものの一つだ。